

【補充資料】

目次

【補充資料 1 - 】		
国語科年間指導計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	資 1
【補充資料 1 - 】		
国語科年間指導計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	資 2
【補充資料 1 - 】		
国語科年間指導計画 の作成例	・・・・・・・・・・・・・・・・	資 4
【補充資料 1 - 】		
国語科学習のねらい確認シート	・・・・・・・・・・・・・・・・	資 5
【補充資料 2 - 】		
数学科年間指導計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	資 6
【補充資料 2 - 】		
数学科年間指導計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	資 7
【補充資料 2 - 】		
数学科年間指導計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	資 8
【補充資料 2 - 】		
数学科 1 単位時間ごとの指導計画・評価シート	・・・・・・・・・・・・・・・・	資11
【補充資料 2 - 】		
数学科生徒用アンケートと集計結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	資12
【補充資料 3 - 】		
地歴・公民科年間指導計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	資13
【補充資料 3 - 】		
地歴・公民科年間指導計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	資14
【補充資料 3 - 】		
地歴・公民科年間指導計画 の作成例	・・・・・・・・・・・・・・・・	資15
【補充資料 3 - 】		
地歴・公民科授業者用評価シート	・・・・・・・・・・・・・・・・	資16
【補充資料 3 - 】		
地歴・公民科生徒自己評価シート	・・・・・・・・・・・・・・・・	資17
【補充資料 3 - 】		
地歴・公民科生徒自己分析シート	・・・・・・・・・・・・・・・・	資18
【補充資料 3 - 】		
地歴・公民科学習指導案例	・・・・・・・・・・・・・・・・	資19
【補充資料 3 - 】		
地歴・公民科授業資料（実朝暗殺）	・・・・・・・・・・・・・・・・	資20
【補充資料 4 - 】		
外国語科年間指導計画	・・・・・・・・・・・・・・・・	資21
【補充資料 4 - 】		
外国語科年間指導計画（英語）	・・・・・・・・・・・・・・・・	資22
【補充資料 4 - 】		
外国語科年間指導計画（オーラルコミュニケーション）	・・・・・・・・・・・・・・・・	資23
【補充資料 4 - 】		
外国語科年間指導計画 の作成例	・・・・・・・・・・・・・・・・	資24
【補充資料 4 - 】		
外国語科単元評価シート	・・・・・・・・・・・・・・・・	資25
【補充資料 4 - 】		
外国語科「英語力の目標」表紙	・・・・・・・・・・・・・・・・	資26
【補充資料 4 - 】		
外国語科「英語力の目標」その 1	・・・・・・・・・・・・・・・・	資27
【補充資料 4 - 】		
外国語科「英語力の目標」その 2	・・・・・・・・・・・・・・・・	資33
【補充資料 4 - 】		
外国語科「英語力の目標」その 3	・・・・・・・・・・・・・・・・	資39
【補充資料 4 - 】		
外国語科「英語力の目標」その 4	・・・・・・・・・・・・・・・・	資45
【補充資料 4 - 】		
外国語科「英語力の目標」その 5	・・・・・・・・・・・・・・・・	資51

【補充資料 1 - 】 年間指導計画 （国語）

年度 岩手県立 高等学校 年間指導計画

1 教科目標

教科	目標
国語	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 評価の観点及び趣旨

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。	自分の考えを深めさせたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。

3 各学年での指導科目と目標

1 学年

科目	単位数	科目の目標	備考
国語総合	4	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。	全員必修

2 学年

科目	単位数	科目の目標	備考
現代文	2	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。	全員必修
古典	3 または 2	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。	文系コースは3単位 理系コースは2単位

3 学年

科目	単位数	科目の目標	備考
国語表現	2	国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。	私立文系コースのみ必修
現代文	2	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。	全員必修
古典	3 または 2	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。	文系コースは3単位 理系コースは2単位

【補充資料 1 - 】年間指導計画（国語）

年度 岩手県立 高等学校 年間指導計画（教科 国語）

1 科目と目標

科目・単位数・指導学年	目標
国語総合 4単位 1学年	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
使用教科書	使用副教材

2 評価の観点及び趣旨

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。	自分の考えを深めさせたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。

3 内容のまとめ（領域）ごとの内容と評価規準

内容のまとめ（領域）ごとの学習内容		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	知識・理解
A 話すこと 聞くこと	言 ア 様々な問題について自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べること	評価規準 ・課題を解決したり考えを深めたりするために、目的や場面に応じて、筋道を立てて効果的に話したり的確に聞き取ったりしようとしている。	・様々な問題について自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べている。 ・目的や場面に応じて効果的に話している。 ・目的や場面に応じて的確に聞き取っている。 ・課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重して話し合っている。	・話し合いをするとき、自分の考えを持つとともに、他の人のものの見方や考え方を的確に聞き取って、課題の解決や思考の深化を図ろうとしている。	・目的や場面に応じた話し方や言葉遣いなどを理解している。 ・文や文章の組立て、語句の意味、用法などを理解し、語彙を豊かに身に付けている。 ・国語の成り立ちや特質、言語の役割などについて理解している。
	事 イ 目的や場面に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること				
	ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重して話し合うこと				・気楽な場面、改まった場面、電話など、場面や目的に応じた話し方や言葉遣いを身に付けている。 ・同訓異義語や同音異義語、敬語について理解している。 ・国語の歴史的な成り立ちと変遷について理解している。
		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	知識・理解
B 書くこと	言 ア 相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えて書くこと	評価規準 ・相手や目的に応じて題材を選び、自分の考えを文章にまとめたり、効果的な表現を考えて書いたりしようとしている。	・相手や目的に応じて題材を選んで書く。 ・相手や目的に応じて効果的な表現を考えて書いている。 ・論理的な構成を工夫して、自分の考えを文章にまとめている。 ・書くことに役立てるために、優れた表現に接してその条件を考えている。		・文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記などを理解し、語彙を豊かに身に付けている。 ・主な常用漢字について、適切な使い方を身に付けている。 ・国語の成り立ちや特質、言語の役割などについて理解している。
	事 イ 論理的な構成を工夫して、自分の考えを文章にまとめること				
	ウ 優れた表現に接してその条件を考え、自分の表現に役立てること				

					・優れた表現を自分の表現に役立てている。	
			評価規準の具体例	・何のために、だれに向かって、どのような条件で書くのかを考え、その相手や目的にふさわしい材料を収集、選択し、用語や文章の組立てなどを工夫して書こうとしている。	・文章を書くとき、相手や目的に応じた題材を選び、それにふさわしい材料を、自分自身の体験や思索ばかりでなく、読書や調査、観察などで得て、その取捨選択を行っている。 ・文章を書くねらいを達成するため、主張を明確にし、論点を整理して配列を考え、最も適切な語句を選ぶなど、表現に様々な工夫を凝らしたり、推敲を重ねたりしている。 ・課題についての報告などを書くとき、学校図書館等を活用して必要な情報を収集、整理し、事実や事柄をしっかりとらえ、それを相手にきちんと伝えるため、客観的に表現している。 ・説明や意見などを書くとき、自分の考えを相手に納得させるために、内容を明確に示し、組立てのしっかりした文章を書いている。 ・優れた文章を分析、吟味するとき、発想の豊かさ、構成の着実さ、修飾語と被修飾語の適切な関係、読み手を意識した適切な用語や引例などについて着目している。 ・文章を書くとき、優れた文章を分析、吟味した成果や、様々な表現から読み取った発想や構成の特色などを生かしている。	・主語、述語、修飾語などの文の成分の順序や照応関係について理解している。 ・段落を設けることによって、述べたいことを効果的に表現できることを理解している。 ・漢字の使い方、仮名遣い、送り仮名の付け方、外来語の表記、平仮名と片仮名の使い分け、句読点や各種の符号の使い方、改行や引用の仕方などの表記全般について、その知識や技能を身に付けている。 ・主な常用漢字について、文脈に応じた適切な使い方を身に付けている。 ・国語の歴史的な成り立ちと変遷について理解している。
				関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
C 読むこと	言語事項	ア 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約したりすること イ 文章を読んで、構成を確かめたり表現の特色をとらえたりすること ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと	評価規準	・様々な文章について、叙述に即して内容を的確に読み取ったり、表現に即して読み味わったりして、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしようとしている。	・文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。 ・必要に応じて文章の内容を要約している。 ・文章を読んで、構成を確かめている。 ・文章を読んで、表現の特色をとらえている。 ・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。 ・様々な文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしている。	・文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かに身に付けている。 ・常用漢字の読みを理解している。 ・文語のきまり、訓読のきまりなどについて理解している。 ・国語の成り立ちや特質、言語の役割などについて理解している。
			評価規準の具体例	・古典や近代以降の様々な文章を読んで、表現の意図や特色をとらえようとしたり、心情を豊かにし、思考力を育て、人間、社会、自然などに対して自分なりの考えを持つようとしている。	・文脈を考えながら、語句や表現に注意して、書き手の考えなどを過不足なくとらえている。 ・文章の要点を押さえながら、書き手が述べようとしていることを簡潔にまとめている。 ・文章の組立てを確かめたり、段落相互の関係を読み取ったりしながら、書き手の主張や文章の内容をとらえている。 ・文体や表現技法等の特徴に注意しながら、書き手の主張や文章の内容をとらえている。 ・古典や近代以降の様々な文章に描かれている人物の心情や情景をとらえ、音読や朗読などを取り入れながら読み味わっている。 ・様々な文章を読むことで、書き手の主張や文章の内容をとらえ、共感、疑問、思索などを通して思考力を高め、自分なりの考えを深めている。 ・学校図書館等を利用することを通して、読書力を高めるとともに、必要な情報を収集、選択し、その価値などを読み取り活用している。	・文脈との関連において語句の意味をとらえることを身に付けている。 ・単語、複合語や連語、慣用句などについて理解している。 ・常用漢字について、その音訓を理解し、文脈に応じた適切な読み方を身に付けている。 ・現代語と異なる歴史的仮名遣いや活用の違い、主な助詞、助動詞等の意味、用法、係り結び、敬語法の大体について理解している。 ・漢文の訓読に必要な返り点、送り仮名、句読点などに関するきまりについて理解している。 ・国語の歴史的な成り立ちと変遷について理解している。

【補充資料 1 - 】年間指導計画 の作成例

年度 岩手県立 高等学校 年間指導計画

【国語総合 現代文】

()内は時間数

月	単元名	単元目標	教材	評価規準	評価方法	
4月	(現) 評論 (6)	ア 文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている イ 論理的な構成を工夫して、自分の考えを文章にまとめる ウ 様々な文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする	1 黒井千次「歩行と思索」(3) 2 柴田翔「希望としてのクレオール」(3)	I	・他の人の考え方を的確に聞き取り、課題の解決や思考の深化を図ろうとしている	観察
				S	・説明をするとき、話す相手を意識し、話し方を工夫することによって分かりやすく伝えている	観察
				W	・自分自身の体験や思索ばかりでなく、教材から読み取った内容を取捨選択して、文章を書いている	ノート・課題プリント
				R	・文脈を考えながら、語句や表現に注意して、書き手の考えなどを過不足なくとらえている ・書き手の主張をとらえ、共感、疑問、思索などを通して自分の考えを深めている	観察・ノート・テスト
				K	・抽象的な言葉や比喻表現を正確に理解している ・慣用的な語句や外来語の意味を理解している	観察、テスト

(注) I = 関心・意欲・態度、S = 話す・聞く能力、W = 書く能力、R = 読む能力、K = 知識・理解

【国語総合 古典】

()内は時間数

月	単元名	単元目標	教材	評価規準	評価方法	
4月中旬旬	(古) 古文入門 (6)	ア 古文を読む基礎を学ぶ イ 人物の心情をとらえながら文章を読み味わう ウ 説話における表現の特徴を理解する	1 検非違使忠明、いさかひのこと(2) 2 鳥羽僧正、絵をもつて諷すること(1) 3 源頼義、馬盗人を射殺したること(3)	I	・範読を積極的に聞き、言葉を意欲的に調べている	観察・ノート
				S	・歴史的仮名遣いを正しく発音して読んでいる	観察
				W	・教材文を歴史的仮名遣いに留意して正しく表記できる ・五十音図を正しく表記できる ・登場人物の言動に対する感想を的確にまとめている	ノート・課題プリント
				R	・教材文を重要語句や文法に即して正しく口語訳できる ・登場人物の人間関係を的確にとらえている ・登場人物の心情を的確にとらえている	観察・ノート・テスト
				K	・歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを理解している ・古語辞典の使い方を理解し、語句調べに活用できる ・文語の用言について、種類と活用を理解している	観察、テスト

(注) I = 関心・意欲・態度、S = 話す・聞く能力、W = 書く能力、R = 読む能力、K = 知識・理解

学 習 の ね ら い 確 認 シ ー ト No. 1

年 組 番 氏 名	記載日 前半 (/) 後半 (/)
学習単元 ・ 説話 (国語総合古典編)	学習期間 月 日 ~ 月 日
教材名 (時数) ・ 『 検非違使忠明、いさかひのこと 』 (2) ・ 『 鳥羽僧正、絵をもって諷すること 』 (1) ・ 『 源頼義、馬盗人を射殺したること 』 (3)	単元目標 ア 人物の心情を想像力を働かせながら読む イ 人物の心情をとらえながら文章を読み味わう ウ 古典の表現の特色について理解する

学 習 目 標		前 半	後 半	を付けた理由を書きなさい
ねらい 1 ~ 6 の実現状況を . . . で自己評価すること				
ア 人物の心情を想像力を働かせながら読む				例：1 - 「爰」の書き方がわからない ----- ----- -----
1	歴史的仮名遣いを正確に読み書きできる			
2	五十音図を読み書きできる			
3	大事な文を理解して読める			
4	文章の構成や展開を踏まえて読める			
5	文末の表現を吟味し、正確な読みができる			
6	古語辞典を利用して読みを深めることができる			
イ 人物の心情をとらえながら文章を読み味わう				
7	登場人物の人間関係を的確にとらえられる			
8	登場人物の心情に共感したり反発したりできる			
ウ 古典の表現の特色について理解する				
9	文語体の特徴を理解して読める			
10	説話の特色について理解できる			

この単元の学習に対する関心度を答えてください		前 半	後 半	を付けた理由を書きなさい
とてもある ある あまりない				
1	文語体の特徴を理解して正確に古文を音読すること			
2	古語辞典を利用して適切な意味を考えること			
3	人物の心情を想像しながら音読すること			
4	文章の構成や展開を踏まえて音読すること			
5	登場人物の行動や心情に対する意見を書くこと			